

# 地域再生とまちづくり

各都市が目指すものは

## 本四3ルートで唯一

全長約60kmのしまなみ海道は、1988年の瀬戸大橋、98年の明石海峡大橋に続き、四国と本州を結ぶ三本目のルートとして99年に開通。06年に島内道路整備を終えて全通した。本四3ルートで自転車道が唯一併設されていることから、このしまなみ海道を利用したサイクリングによ

る地域活性化が愛媛県を中心となって、地元今治市とともに進められている。

15年の県内観光客数はしまなみ開通年を約61万人以上上回る2708万5000人(前年比2.3%増)で過去最高となった。その中で今治圏域は505万2000人。

<第9回>

「サイクリングしまなみ」や今年4月に日本遺産に認定された日本最大の海賊「村上上海賊」人気から県外客は16万2000人増加した。

サイクリングしまなみの人気は国内外を問わず世界的となってきたおり、アメリカCNNでアジア有数のサイクリングコースとして紹介され、また「楽天トラベルサイクリストに人気の旅行先ランキング」で今年4月公表で1位となった。しまなみ海道の15年度の自転車通行量(推計値、

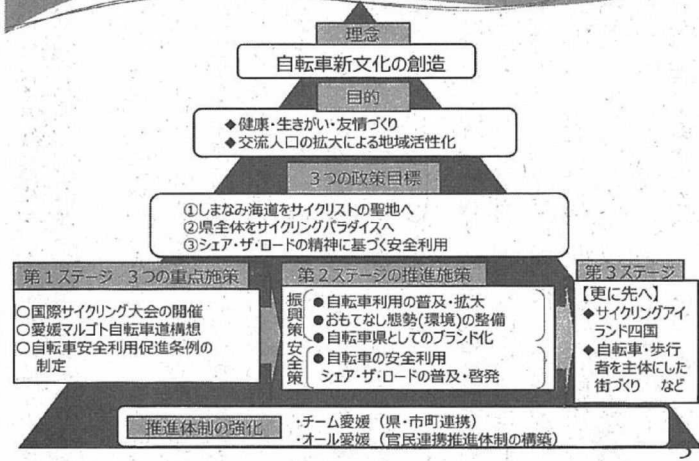
14年7月から自転車通行は無料化となり、同年10月26日に国際サイクリング大会「サイクリング大会」が開催された。全国各地はもとより韓国、台湾など世界34の国・地域から約8000

## 愛媛県今治市・サイクリストの聖地目指す

### 再来で人気定着

また、今年10月30日に「サイクリングしまなみ2016」(定員3500人)が予定されるなど、人気が定着化してきている。まさに再びサイクリングに再来(サイクリング)しまなみと言える。「しまなみ海道をサイクリストの聖地」へをスローガンに自転車による地域活性化の成功例として確立しつつある。愛媛県は「自転車新文化の創造」(別掲図参照)として、しまなみから県内全域、四国内、さらには全国へと広がっていく夢に向かって突き進んでいる。

## 1. 愛媛県が進める自転車新文化の全体像



(出典：愛媛県企画振興部総合政策課自転車新文化推進室)

# しまなみ海道を生かせ アジア有数のコースに



自転車道が併設されているしまなみ海道



しまなみ海道のマスコットもサイクル姿

また、今年10月30日に「サイクリングしまなみ2016」(定員3500人)が予定されるなど、人気定着化してきている。まさに再びサイクリングに再来(サイクリング)しまなみと言える。「しまなみ海道をサイクリストの聖地」へをスローガンに自転車による地域活性化の成功例として確立しつつある。愛媛県は「自転車新文化の創造」(別掲図参照)として、しまなみから県内全域、四国内、さらには全国へと広がっていく夢に向かって突き進んでいる。

(日本不動産研究所松山支所、不動産鑑定士・亀田武志)